

【令和８年度 科学研究費助成事業 採択状況一覧】

No.	研究種目	部局名	職名	研究代表者名	研究課題名	直接経費 (千円)	備考
1	学術変革領域研究 (A)	データサイエンス学系	准教授	後神 利志	新分光器S-2Sが拓く精密ハイパー核物理：中重核におけるバリオン間力の探求	3,900	令和８年度新規
2	基盤研究 (A)	経済学系	教授	青柳 周一	中近世「菅浦文書」の公開促進と史料学的・文理融合的研究	－	令和３年度継続
3	基盤研究 (A)	データサイエンス学系	准教授	後神 利志	バイオンと電子ビームを使ったハイパー核研究：異種量子線共同分光の創始	4,400	令和５年度継続
4	基盤研究 (B)	データサイエンス学系	教授	来嶋 秀治	確率過程としての乱択計算論	－	令和５年度継続
5	基盤研究 (B)	教育学系	准教授	藤村 祐子	専門職基準を核とする教師教育政策に関する日米比較研究	－	令和５年度継続
6	基盤研究 (B)	データサイエンス学系	准教授	伊達 平和	アルコール依存症の治療ギャップ解消をめざす基礎的研究	2,400	令和６年度継続
7	基盤研究 (B)	経済学系	教授	吉田 裕司	世界インフレと円安の国内物価への波及：税関データによる建値通貨・パススルー分析	3,300	令和７年度継続
8	基盤研究 (B)	データサイエンス学系	教授	島田 貴仁	情報提供と環境手がかりによる行動変容：ナッジ犯罪予防の定式化とその効果検証	3,000	令和７年度継続
9	基盤研究 (B)	データサイエンス学系	教授	飯山 将晃	地球環境基盤モデルによる学習型データ同化手法の開発	2,800	令和７年度継続
10	基盤研究 (B)	教育学部	名誉教授	藤岡 達也	日本から発信するSDGsとSTEAMの視点を重視した国際水準の防災・減災教育	2,400	令和８年度新規
11	基盤研究 (B)	教育学系	教授	加納 圭	多様性・公平性・包摂性・アクセシビリティを核とする包摂的STEAM教育モデルの構築	4,200	令和８年度新規
12	基盤研究 (B)	経済学系	教授	田中 勝也	災害情報の空振り・情報慣れに基づくリスクコミュニケーションの再設計	2,400	令和８年度新規
13	基盤研究 (B)	データサイエンス学系	教授	来嶋 秀治	乱択計算量の解明と応用	3,500	令和８年度新規
14	基盤研究 (B)	データサイエンス学系	准教授	森岡 博史	大規模時空間不均一データの表現学習と縮約モデルに基づく食糧生産最適化	8,300	令和８年度新規
15	基盤研究 (C)	教育学系	准教授	安藤 哲郎	古代・中世の古典の舞台に関する地理学的分析と成果を活用した旅のプランの創造・提案	－	令和３年度継続
16	基盤研究 (C)	教育学系	教授	篠原 雅史	点配置の距離構造に着目した極値組合せ論の研究	－	令和４年度継続
17	基盤研究 (C)	教育学系	准教授	山田 淳子	小学生の社会情動的スキルの実態と体力・運動能力、生活習慣との関係	－	令和４年度継続
18	基盤研究 (C)	データサイエンス学系	教授	佐藤 健一	時空間データに対する非負値行列因子分解における変化係数の導入と展開	400	令和４年度継続
19	基盤研究 (C)	データサイエンス学系	教授	青木 敏	グレブナー基底理論による実験計画法の深化	700	令和４年度継続
20	基盤研究 (C)	データサイエンス学系	准教授	吉田 拓真	高次元極値統計学におけるリスク予測モデリングの開発	－	令和４年度継続
21	基盤研究 (C)	教育学系	准教授	宮本 結佳	アートツーリズムを通じた観光まちづくりに関する観光社会学的研究	－	令和４年度継続
22	基盤研究 (C)	データサイエンス学系	助教	田中 克幸	The Power of Technology: Data Scienceで読み解く技術が及ぼす企業や国への影響	700	令和５年度継続
23	基盤研究 (C)	教育学系	准教授	平松 紀代子	望ましい子育て環境に関する研究 ― 子育て環境の現代的特徴からのアプローチ ―	100	令和５年度継続
24	基盤研究 (C)	教育学系	教授	森 太郎	学校園での栽培活動は気候変動にどのように適応していくべきか？	－	令和５年度継続
25	基盤研究 (C)	教育学系	教授	若松 養亮	教職の志望および継続に関わる利他的動機および利己的感情・欲求の解明	700	令和５年度継続
26	基盤研究 (C)	データサイエンス学系	准教授	奥村 太一	経時データにもとづく心理尺度の動的信頼性	300	令和５年度継続
27	基盤研究 (C)	教育学系	教授	芦谷 道子	英国で開発された子どもマインドフルネスプログラム「ボウズビー」の日本への導入	300	令和５年度継続
28	基盤研究 (C)	経済学系	教授	榎本 雅之	近代スポーツの伝播からみるニュージーランドの民族・宗教の共生	200	令和５年度継続
29	基盤研究 (C)	データサイエンス学系	教授	松井 秀俊	関数データ解析に基づく統計的モデリングの発展と多様な分野への応用	300	令和５年度継続
30	基盤研究 (C)	データサイエンス学系	教授	南條 浩輝	マルチモーダル音声ドキュメント検索のための音声・言語・画像情報処理に関する研究	－	令和５年度継続
31	基盤研究 (C)	データサイエンス学系	准教授	岩山 幸治	Conditional Variational Autoencoderによるbulk RNA-Seqの分解モデルの構築	300	令和５年度継続
32	基盤研究 (C)	経済学系	教授	菊地 利奈	世界文学の中の女性詩―戦争、暴力、フェミニズムを巡る総合的日本近現代女性詩研究	1,100	令和５年度継続
33	基盤研究 (C)	教育学系	准教授	田中 佑美	小学校外国語科における英語コミュニケーション能力と動機づけの検証	600	令和６年度継続
34	基盤研究 (C)	経済学系	教授	御崎 加代子	経済学史から見たアントレプレナーシップ：ワルラスからシュンペーター、カーズナーへ	900	令和６年度継続
35	基盤研究 (C)	経済学系	教授	石井 利江子	公共工事の品質に関する研究	500	令和６年度継続
36	基盤研究 (C)	教育学系	准教授	山本 一成	持続可能性の実現へ向けた幼児期の日本型Common Worlds Pedagogyの研究	1,000	令和６年度継続
37	基盤研究 (C)	教育学系	教授	岳野 公人	技術・工学教育をベースにしたSTEM教育プログラムの開発	800	令和６年度継続
38	基盤研究 (C)	役員	理事	渡部 雅之	乳児と脳血管障害者における非意図的な空間的視点取得と身体性との縦断的関連	700	令和６年度継続
39	基盤研究 (C)	データサイエンス学系	教授	青木 高明	GPS位置情報分析における適切な空間スケールの推定手法の開発と実証実験	500	令和６年度継続
40	基盤研究 (C)	役員	学長	竹村 彰通	多変量解析における分布の近似法の統一的研究	900	令和６年度継続
41	基盤研究 (C)	経済学系	教授	森 宏一郎	社会ネットワークを通じた環境配慮行動の伝播メカニズムと促進政策	1,500	令和６年度継続
42	基盤研究 (C)	教育学系	准教授	伊崎 孝幸	晩唐から宋初における詩の変容についての研究―詠史詩および詠物詩を中心として―	300	令和７年度継続
43	基盤研究 (C)	経済学系	准教授	嘉藤 慎作	18世紀アラビア海の海域秩序の研究：条約に基づく法とその運用状況の分析から	800	令和７年度継続
44	基盤研究 (C)	経済学系	教授	阿部 安成	産業化における同時代史としての高等商業教育をめぐる比較実証研究	800	令和７年度継続
45	基盤研究 (C)	経済学系	教授	府内 直樹	展開型ゲームにおける適応学習の理論的研究	600	令和７年度継続
46	基盤研究 (C)	経済学系	准教授	菊池 健太郎	無裁定資産価格理論に基づく債券・株式のリスクプレミアムの期間構造解析	600	令和７年度継続
47	基盤研究 (C)	経済学系	教授	野田 昭宏	サステナビリティ情報開示における企業裁量行動のメカニズム解析	1,800	令和７年度継続

No.	研究種目	部局名	職名	研究代表者名	研究課題名	直接経費 (千円)	備考
48	基盤研究(C)	教育学系	教授	太田 拓紀	1980年代の「荒れ」をめぐる生徒指導実践の転換と教師生徒関係の変容	900	令和7年度継続
49	基盤研究(C)	教育学系	教授	馬淵 哲	ループリックを活用した創造的な探究デザイン学習の実践的研究	600	令和7年度継続
50	基盤研究(C)	経済学系	教授	竹村 幸祐	文化はどのように変化するか：システム内の相互影響に注目して	1,300	令和7年度継続
51	基盤研究(C)	教育学系	教授	長谷川 武博	関数体版超幾何関数を用いたドリンフェルト・モジュラー多様体の研究	400	令和7年度継続
52	基盤研究(C)	教育学部	名誉教授	穂積 俊輔	太陽とその近傍の星の軌道を遡ることによる誕生位置の特定から探る星の金属量の起源	1,200	令和7年度継続
53	基盤研究(C)	経済学系	教授	松下 京平	持続可能な農業の実現に向けた地域間・産業間の最適水資源配分の実証的解明	1,600	令和7年度継続
54	基盤研究(C)	教育学系	教授	大平 雅子	児童生徒における毛髪中のホルモンを用いたメンタルヘルス評価手法の開発	1,200	令和7年度継続
55	基盤研究(C)	データサイエンス学系	教授	義久 智樹	ノードツインによる因果探索を用いた高品質映像配信基盤	1,200	令和7年度継続
56	基盤研究(C)	データサイエンス学系	教授	佐藤 智和	画像群からの三次元復元における蓄積誤差の解消に関する研究	800	令和7年度継続
57	基盤研究(C)	教育学系	教授	徳田 陽明	非負値行列因子分解とベイズ最適化の融合による革新的無機材料の開発	900	令和7年度継続
58	基盤研究(C)	データサイエンス学系	教授	市川 治	集合知を利用した感性的な楽曲特徴量とその楽曲推薦および楽曲生成への応用の研究	400	令和7年度継続
59	基盤研究(C)	経済学系	教授	野瀬 昌彦	マダン州の言語における非現実意味を有する動詞表現調査と地域言語学的研究	800	令和8年度新規
60	基盤研究(C)	教育学系	教授	大西 克典	18世紀トスカーナにおける地方統治：集権か分権か	1,000	令和8年度新規
61	基盤研究(C)	経済学系	教授	陳 韻如	協調と競争の相互作用が半導体産業の持続可能性に与える影響―資源依存理論の視座から	1,000	令和8年度新規
62	基盤研究(C)	教育学系	准教授	羽山 裕子	知的障害児教育における「読むこと」のカリキュラムの教育方法学的研究	300	令和8年度新規
63	基盤研究(C)	教育学系	准教授	長岡 由記	文字・語彙の学習方略の選択と使用に関する研究	1,100	令和8年度新規
64	基盤研究(C)	教育学系	准教授	滝井 未来	大学日本語教育への状況的学習論の適用―就職後の円滑な社会参加のために―	1,000	令和8年度新規
65	基盤研究(C)	教育学系	准教授	蔵永 瞳	当然さの認識を揺るがすことで感謝を促す心理的介入：自己内比較手法の検討	1,400	令和8年度新規
66	基盤研究(C)	データサイエンス学系	講師	三井 真吾	海中大型ニュートリノ実験に向けたSiPMおよび読み出しシステムの開発	400	令和8年度新規
67	基盤研究(C)	データサイエンス学系	准教授	江崎 剛史	因果推論を適用した医薬品特性向上のための重要特徴量探索手法の開発	1,600	令和8年度新規
68	基盤研究(C)	データサイエンス学系	准教授	吉田 拓真	極値統計学における少数サンプル問題の克服：機械学習を用いた手法開発	1,100	令和8年度新規
69	基盤研究(C)	データサイエンス学系	准教授	松島 裕康	構造学習型分布推定アルゴリズムによる複雑依存構造をもつ問題の最適化	1,600	令和8年度新規
70	基盤研究(C)	データサイエンス学系	助教	千代延 未帆	情報倫理における形而上学的エントロピー概念の整合性検証と再構成に関する研究	2,500	令和8年度新規
71	基盤研究(C)	データサイエンス学系	教授	田中 琢真	場が創発する文化の定量化――生成モデルによる連歌の継承ダイナミクスの解明	1,900	令和8年度新規
72	基盤研究(C)	データサイエンス学系	教授	村松 千左子	乳がんの最適な治療方針決定のためのバイオブシー支援システムの検討	1,300	令和8年度新規
73	国際共同研究加速基金（国際共同強化（B））	データサイエンス学系	准教授	後神 利志	電子線を用いたハイパー核の世界最高確度分光	2,000	令和4年度継続
74	挑戦的研究(萌芽)	データサイエンス学系	教授	島田 貴仁	社会科学における新たなエビデンス創出・流通の基盤構築―地域での犯罪予防を例として	1,800	令和7年度継続
75	挑戦的研究(萌芽)	教育学系	教授	加納 圭	ろう・難聴児のSTEM分野進学阻害要因分析とインクルーシブSTEM教育の推進	1,600	令和7年度継続
76	研究活動スタート支援	教育学系	講師	石田 基起	超重症児の意思疎通支援に向けたリアルタイム情動反応解析システムの構築	500	令和7年度継続
77	若手研究	データサイエンス学系	講師	岩崎 悟	誘引忌避走化性方程式における時空間パターン解の挙動の支配方程式の解明および解析	―	令和3年度継続
78	若手研究	データサイエンス学系	講師	堀 兼大朗	発達障害のある者と親の就職経験をめぐる社会学的研究	―	令和5年度継続
79	若手研究	経済学系	講師	中津 陽介	職場における従業員の非倫理的向組織的行動の生起メカニズムの研究	1,300	令和6年度継続
80	若手研究	データサイエンス学系	講師	土田 旭	サブリーマン多様体の微分幾何学の特異点論的研究	600	令和6年度継続
81	若手研究	データサイエンス学系	講師	西尾 治幾	アブラナ科植物における季節的な遺伝子制御の種間比較	1,100	令和6年度継続
82	若手研究	データサイエンス学系	講師	小野島 隆之	人間の脳活動における振動現象の抽出と機能的役割の解明	800	令和6年度継続
83	若手研究	データサイエンス学系	講師	松原 悠	水害発生前の社会状況を比較可能にするデータアーカイブの作成と活用	―	令和6年度継続
84	若手研究	経済学系	講師	井上 俊克	家計調査の長期データを用いた実質消費の計測	1,000	令和7年度継続
85	若手研究	経済学系	教授	後藤 良介	大規模言語モデルを用いたサステナビリティ戦略の定量化と企業価値への影響分析	1,400	令和7年度継続
86	若手研究 独立基盤形成支援	経済学系	教授	後藤 良介	大規模言語モデルを用いたサステナビリティ戦略の定量化と企業価値への影響分析	―	令和7年度継続
87	若手研究	教育学系	准教授	西野 倫世	個別最適な学びに向けたAI活用方策に関する日米比較研究―教師の自律性に着目して―	900	令和7年度継続
88	若手研究	データサイエンス学系	准教授	TRAN・DINH・TUAN	視覚障害者向けの化粧支援システムの研究開発	1,000	令和7年度継続
89	若手研究 独立基盤形成支援	データサイエンス学系	准教授	TRAN・DINH・TUAN	視覚障害者向けの化粧支援システムの研究開発	―	令和7年度継続
90	若手研究	経済学系	准教授	新久 章	不均一分散に頑健な高次元統計的推測	700	令和8年度新規
91	若手研究	教職大学院	准教授	山川 直孝	障害のある教師のニーズと校内支援モデルの構築に関する研究	500	令和8年度新規
92	若手研究	教育学系	講師	石田 基起	超重症児の快・不快を捉えるリアルタイム情動判定装置の開発	700	令和8年度新規
93	若手研究	データサイエンス学系	助教	陳 峻冬	UAV光学画像に基づく海草種別対応ブルーカーボン推定モデルの構築	900	令和8年度新規

計 93 件

102,300

（※）「－」：繰越課題、延長課題等 令和8年度新規配分が存在しない課題